

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期人情味あふれる！笑いのたえないまち実現計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大阪府門真市

3 地域再生計画の区域

大阪府門真市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は1990年の143,287人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2020年には120,701人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が92,474人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は2014年の16,098人から2023年には11,480人と減少傾向にある一方、老年人口（65歳以上）は2014年の29,153人から2023年には30,575人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2014年の81,504人から2023年には75,208人と減少傾向にある。

自然動態をみると、出生数は2014年の886人から2023年には628人と減少傾向にある。その一方で、死亡数は2014年の1,251人から2023年には1,652人と増加の一途をたどっており、2023年には出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲1,024人（自然減）となっている。

社会動態をみると、転出数が転入数を上回る転出超過が長年続いており、2014年には▲670人の社会減、2022年には▲289人の社会減となっている。2023年に転入超過となり、215人の社会増となったものの、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な

影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、次の基本目標を掲げ、特に、若い世代や子育て世代の定住を促進し、それぞれの希望に応じて子どもを産み育てられる環境を整備し、バランスのとれた年齢構成を実現していく。また、市民みんなが世代を超えてつながり、幸せに暮らせるよう、身近で働ける場の創出、文化芸術の推進、健康づくり等を図る。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現
- ・基本目標 2 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現
- ・基本目標 3 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現
- ・基本目標 4 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2029年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	放課後児童クラブの待機児童数	0人	0人	基本目標 1
	子どもの未来応援団員から情報提供を受けて支援に動きだした件数	195件	300件	
	4か月児健康診査対象者の受診率、1歳6か月児健康診査対象者の受診率、3歳6か月児健康診査対象者の受診率	4か月児 88.3% 1歳6か月児 90.0% 3歳6か月児 91.1%	4か月児 98.0% 1歳6か月児 97.0% 3歳6か月児 95.0%	

妊娠11週以下での妊娠の届出率	95.8%	99.8%
保育サービスや子育て家庭への支援が充実し、子育てしやすい環境ができていると思う人の割合	70.8%	90.0%
要保護児童連絡調整会議による新規登録件数	369件	286件
年度末時点の保育所等の待機児童数	4人	0人
門真市は安心して楽しく子育てができる環境だと思う人の割合	30.7%	70.0%
全国学力・学習状況調査の標準化得点 (全国を100とした時の相対的な比較数値)	小学校96.8 中学校96.7	小学校105 中学校105
授業の中で、「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と思う児童・生徒の割合(全国学力学習状況調査)	小学校:79.7% 中学校:80.3%	小学校:85.0% 中学校:85.0%
「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する肯定的意見の割合(小6、中3の平均)	81.9%	90.0%
子どもが健やかに成長していると感じている人の	74.4%	90.0%

	割合			
	小学5年生の体力合計点 の国との比較 (本市平均点／全国平均 点)	93.6%	105%	
	トイレの洋式化率	62.7%	70.0%	
	「授業でパソコンを使っ て自分のペースで学ぶこ とができる」と思う児童・ 生徒の割合	—	100.0%	
	20～30代の転出超過数	73人	▲120人	
イ	健康寿命の大阪府平均と の差	男▲1.44歳 女▲0.86歳	男0歳以上 女0歳以上	基本目標2
	がん検診の受診率	肺がん検診： 10.4% 胃がん検診： 1.6% 大腸がん検診： 6.2% 子宮がん検診： 8.3% 乳がん検診： 6.0%	各種検診 50.0%	
	麻しんの予防接種率	第1期：81.5% 第2期：89.4%	第1期、第2期 95.0%	
	特定健康診査受診率	29.4%	60.0%	
	健康診査受診率【後期高 齢者医療】	27.9%	40.0%	
	互いに助け合い、支えあ	79.3%	90.0%	

	う地域のつながりができ ていると思う割合			
	小地域ネットワーク活動 件数	個別援助活動： 9,143件 グループ 援助活動： 34,679件	個別援助活動： 12,000件 グループ 援助活動： 36,000件	
	認知症サポーター養成者 数（累計）	8,186人	9,000人	
	前期高齢者の要支援・要 介護認定率の割合	7.1%	4.5%	
	障がい者が自立しながら 安心して暮らせる環境が できていると思う人の割 合	80.7%	90.0%	
	障害者差別解消法を知っ ている市民の割合	20.6%	60.0%	
	15～64歳における生活保 護率（人口比）	2.8%	1.5%	
	健康管理指導による改善 率	53.0%	85.0%	
	地域の活動に今後参加し たいと考えている市民の 割合	23.8%	70.0%	
	大学・企業との包括連携 事業実績数	48回	60回	
	NPO法人やボランティ ア活動に参加している人 の割合	16.5%	60.0%	

	消費相談あっせん率	10.0%	20.0%	
	無料法律相談の稼働率	80.4%	90.0%	
	人権講座の年間延べ参加人数	161人	500人	
	女性相談の利用者数	2,371人	5,000人	
	平和で人権が守られていると感じる人の割合	76.9%	90.0%	
	在住外国人と活発に交流できていると思う人の割合	81.0%	90.0%	
	国外の都市との交流が行われていると思う人の割合	81.3%	90.0%	
	市民の地域推奨意欲	5.6%	50.0%	
ウ	地震時等に著しく危険な密集市街地の面積	63ha	24ha	基本目標 3
	市街化区域の割合	97.5%	100.0%	
	主要駅の周辺がまちの顔としてにぎわいのある魅力的な環境だと感じる人の割合	35.3%	70.0%	
	住宅の耐震化率	88.1%	95.0%	
	空き家率	17.0%	15.2%	
	市民1人当たりの公園面積	1.21m ²	2.00m ²	
	市内緑化の年間増加面積	3,877m ²	4,000m ²	
	長寿命化対策を実施する公園施設数	13箇所	20箇所	
	大和田駅前南側広場の整	未整備	整備完了	

	備		
	都市計画道路整備延長	25.25km	26.04km
	年間歩道改良箇所数	3箇所	5箇所
	年間交通事故発生件数	370件	300件
	市民一人一日当たりのごみ排出量	919g	870g
	温室効果ガスの総排出量	22,300t-CO2	19,685t-CO2
	清掃活動の参加者数	4,564人	6,000人
	公害が少ない環境の良いまちだと思ふ市民の割合	42.9%	70.0%
	ふれあいサポート収集の利用世帯数	91世帯	200世帯
	管路の耐震化率	25.4%	32.1%
	配水池の耐震化率	56.3%	83.5%
	ポンプ所の耐震化率	70.3%	100.0%
	下水道の処理人口普及率	97.9%	99.8%
	下水道による浸水対策達成率	90.8%	94.0%
	災害協定締結数	52	60
	門真市は犯罪や事故、災害の心配が少ない安全・安心なまちだと思ふ人の割合	24.7%	60.0%
	「あなたは、災害に向けた備えをしていますか。」で、「最寄りの避難場所を確認している」と回答した割合	53.4%	80.0%
	「あなたは、災害に向け	32.9%	70.0%

	た備えをしていますか。」 で、「非常用持出袋を用意 している」と回答した割 合			
	門真市の刑法犯認知件数	1,406件	700件	
	建物火災発生件数	25件	10件	
	救急医療情報キット年間 申請者数	43人	50人	
	迅速で明るく、わかりや すい窓口サービスがなさ れていること	70.9%	90.0%	
	市役所職員の対応・行動 が「良い」と感じている 人の割合	67.4%	80.0%	
	公共施設を利用する市民 の満足度	67.3%	80.0%	
	公共施設の延床面積の削 減率	—	12.5%	
エ	市内に事業所を有する全 産業における付加価値額	3,299億円	3,391億円×（ 2020年-2030年 国内実質GDP 伸び率）を上回 ること。	基本目標 4
	活発な工業活動ができる ような環境になっている と感じる市民の割合	82.1%	90.0%	
	市内常住の市内従業者の 割合	32.0%	33.2%	
	【女性】市内常住の市内	43.4%	45.0%	

	従業者の割合			
	生涯学習活動をしたことがある人の割合	31.1%	70.0%	
	図書館を利用したことがある人の割合	32.9%	70.0%	
	ルミエールホールの稼働率	47.9%	60.0%	
	文化関係のサークル活動や団体に参加している市民の割合	8.4%	60.0%	
	歴史資料館の年間入館者数	749人	6,000人	
	市民学芸員年間活動回数	2回	24回	
	スポーツ・レクリエーション事業への参加者数	6,923人	9,000人	
	スポーツ・レクリエーション事業参加者のうち、過去1年間に全くスポーツ・レクリエーション活動をしなかった人の割合	28.1%	15.0%	
	バスや鉄道などの公共交通機関が利用しやすいと感じる市民の割合	68.4%	80.0%	
	広報かどまを「よく見る」と回答した市民の割合	43.0%	70.0%	
	X(旧Twitter)フォロワー数	6,100人	6,350人	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期人情味あふれる！笑いのたえないまち実現事業

ア 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現事業

イ 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現事業

ウ 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現事業

エ 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現事業

② 事業の内容

ア 出産・子育てがしやすく、子どもがたくましく育つまちの実現事業

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援により、安心して出産・子育てができる環境づくりや、少子化に伴う児童の減少による教育環境の変化に対応し、門真の将来を担う子どもたちが多様な経験を積み、個性や能力を開花させながら、コミュニケーション能力と、グローバルな視点を持って、たくましく育つ環境をつくる事業

【具体的な事業】

・子どもの未来応援事業

・保育士等確保事業

・妊娠・出産包括支援事業

・部活動地域移行検討事業 等

イ 地域の中で生き活きと、健康で幸せに暮らせるまちの実現事業

地域福祉を支える担い手の確保・育成や、交流や見守り活動、支援の場等、様々なネットワークの構築を推進し、地域の中で支え合える環境づくりや、市民の健康づくりや地域で活躍できる機会の充実を図り、子どもや若い世代、高齢者、障がい者等、みんなが健康で幸せに暮らせる環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・スマートシティ推進事業
 - ・高齢者の健康づくり推進事業
 - ・健診・各種がん検診等事業
 - ・地域コミュニティ活性化事業
- 等

ウ 安全・安心で快適な住まいと環境のあるまちの実現事業

老朽化する公共施設等をはじめとするまちの基盤の再整備や密集市街地解消を推進し、充実した都市機能と良好で快適な住まいと環境づくり、また、増加する空き家に係る対策や防犯体制の強化、地震等の自然災害への危機管理体制の強化を図り、犯罪や災害に強い安全・安心な環境をつくる事業

【具体的な事業】

- ・密集市街地整備事業
 - ・古川橋駅周辺ウォークアブル推進事業
 - ・環境美化推進事業
 - ・防犯対策事業
 - ・防災対策事業
- 等

エ 誰もが活躍できる賑わいと活気あるまちの実現事業

産業の振興・雇用創出を図り、働く場が身近にありワークライフバランスを実現できる職住近接の環境づくりや、高齢化が進む中、市内の文化資源を生かしつつ文化芸術の振興・推進を図り、地域での学びの場や人が交流する場を創出し、人の温かさや利便性の高い交通網等本市の強みを最大限に活かすことで、まちの活力と賑わいを創出する事業

【具体的な事業】

- ・「職住近接のまち」実現のための企業魅力アップ事業
 - ・文化芸術推進事業
 - ・乗合タクシー社会実験運行事業
 - ・門真南ルート運行事業
- 等

※ なお、詳細は門真市第6次総合計画改訂版（本市における地方版総合戦略）のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

4,600,000 千円（2025 年度～2029 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

事業の進捗状況や取組内容を踏まえ、毎年度 7 月頃に、門真市第 6 次総合計画改訂版（門真市まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含）に係る有識者への意見聴取等から K P I の達成度を検証する。また、新たな課題や状況変化等への対応に当たっては、有識者からの意見を参酌した事業改善を実践することで、目標達成に努める。

（外部組織の参画者）

門真市第 6 次総合計画に係る有識者

（検証結果の公表の方法）

検証後、速やかに本市ホームページにおいて結果を公表

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで